



8月23日(金) 財政課 ☎57-8502
香南市まちづくり
ランドデザイン策定委員会スタート

香南市全体の新たなまちづくり方針を総合的・体系的に示していく「まちづくりランドデザイン」を、本年度より3カ年計画で策定していくこととしています。

8月23日に開催の第1回策定委員会では、委員から「産業振興」「新庁舎周辺土地利用計画」「高台移転」などの重点施策について、「委員会の開催情報や会議報告の仕方なども含め、策定についても市民へアピールを行うことが必要」「計画づくりで3年間は長い。もっとスピード感をだしたらどうか」「高台移転の基本的な考え方が整理できていない」「全体計画だけでなく、身近な地域のまちづくりを具体的に示してほしい」など、さまざまな意見が出されました。

今後は、開催のお知らせを行うとともに、検討内容等についても市のホームページや広報誌などを活用しながら情報発信していきたいと考えています。第2回の策定委員会は11月1日の午後、市役所本庁舎で開催する予定です。傍聴を希望される方は、財政課までご連絡ください。(関連34ページ)

農林課 ☎57-7517
農村派遣研修が行われました

吉川町の指導農業士、野村高志さんの元で1カ月間、農林水産省の宮崎理子さんが研修を行いました。

これは、生産現場で農家の方と意見交換し、現場に根ざした政策立案能力を身につけることを目的とした研修です。高知で柑橘類の研修を希望した宮崎さん。野村さんからハウスみかんについて熱心に学びました。香南市の農家の方とふれあい、「皆さんが自分たちで作上げた作物に誇りを持っていることを肌で感じた」と話していました。



防災対策課 ☎57-8501
探しています!『アマチュア無線局』

市では、災害などの非常時に市防災無線だけでなく、アマチュア無線が連絡手段として大変有効な手段であると考えています。

無線従事者免許証および無線局免許状をお持ちで、無線局を開局している市民の皆さんでクラブを設立するため、無線局開局者で非常時通信に協力していただける方を探しています。

市民の皆さんの命を救うためご協力ください。お力を貸していただける開局者の方は防災対策課までぜひご一報ください。



農林課 ☎57-7517 防災対策課 ☎57-8501
災害対策ワークショップの日程

7月から開催している南海地震や豪雨などの自然災害に備えるための「災害対策ワークショップ」の2回目以降の日程が決まりました。地域の被害想定や危険箇所について、さらに理解を深め、自分たちの地域の状況を知るためにも、ぜひ参加をお願いします。

◆検討内容

避難場所、避難経路、危険箇所、要援護者対策等について

◆日程

【第2回目】10月12日(土)

- 夜須町… 9:30~11:30 夜須中央公民館
- 香我美町… 14:00~16:00 香我美庁舎
- 野市町… 18:00~20:00 のいちふれあいセンター

【第3回目】11月17日(日)

- 夜須町… 9:30~11:30 夜須中央公民館
- 香我美町… 14:00~16:00 香我美庁舎
- 野市町… 18:00~20:00 のいちふれあいセンター

【第4回目】12月15日(日)

- 夜須町… 9:30~11:30 夜須中央公民館
- 香我美町… 14:00~16:00 香我美庁舎
- 野市町… 18:00~20:00 のいちふれあいセンター

夏 第5回 田園祭
の終わりの祭りを愉しむ

8月24日(土)野市小学校グラウンドで田園祭が行われました。復活して今年で5年目となった田園祭。恒例となってきたアムレスリング大会や早食い競争では大人も子どもも大盛り上がり。早食い競争では、真っ白い顔になったり、青汁を一気に飲んでむせたりした子どもたちを笑いながらも必死に応援する姿が印象的でした。また、懐かしの野市音頭も披露され、会場はちょっと昔にタイムスリップしたような雰囲気に包まれていました。夜には約200発の花火が打ち上げられ、香南の夜空を彩っていました。



▲早食い競争で片栗粉の中からマシュマロを探す子どもたち



▲子どもからお年寄りまで、踊りは体が覚えていて

習 夜須町手結地区真行寺の手結盆踊り
習しを守り続ける鎮魂の踊り

8月24日(土)夜須町手結地区の真行寺で地区住民による盆踊りが奉納されました。手結盆踊りといえば毎年8月15日に花火大会と共に開催される伝統行事と思われる人も少なくないかもしれませんが、元々は江戸時代に手結港を作るときに亡くなった人々を慰める踊り。書物にも「必ず真行寺境内で踊ること」との記述もあり、手結地区の住民たちによって今も必ず踊られています。この日は、古港に唄いが響き、舞を踊る、幻想的な一夜となりました。

音 第7回 香南市音楽祭
音楽で心豊かに、宮城県復興を願う

9月8日(日)夜須中央公民館で第7回香南市音楽祭(同実行委員会主催)が開催されました。邦楽、洋楽、合唱などさまざまなジャンルの音楽を楽しめる年1回のコンサートとあって、幅広い年齢層の人が詰め掛け、会場は演奏が終わるたびに温かい拍手で包まれていました。

また、ゲストとして宮城県を中心に活躍している、後藤美久夫さん(サクソホン)と片倉加寿子さん(ピアノ)、地元高知で活躍しているイコ・ジョージさん(ラテンパーカッション)、橋田文章さん(ドラムス)、西村公孝さん(ベース)によるジャズの演奏も行われました。

宮城県の復興を願い、コーラスグループと観客全員による震災復興支援ソング「花は咲く」の合唱と災害支援への協力の呼び掛けも行われ、集まった募金はゲストと関わりの深い同県山元町へ贈られました。



▲地元の吹奏楽団とゲストによる演奏



▲俳句づくりに真剣に取り組む子どもたち

心 詩の基本は俳句を知ることから
豊かに「詩のつくり方教室」

赤岡市民館で詩のつくり方教室が行われ、赤岡小学校の児童ら5人が参加しました。講師は香南市文化協会の会長で詩人の野村土佐夫さん。奥行きのある深い詩をつくるには、俳句を学ぶことが基本になることから早速、季題の「石竹」の花を見ての俳句づくりに挑戦。子どもたちは指で5・7・5の字数を数えながら、感じたことや思いを作品にしていました。夏休み期間中に3回(7月31日、8月6日・27日)行われ、子どもたちの上達ぶりに野村さんが「これからは『詩の寺子屋』として教室を続けよう」と呼びかけ、定期的開催することになっています。